

選ばれる企業になるために! 中小企業が取り組むべき 脱炭素経営の秘訣

- 脱炭素に代表されるサステナビリティが企業に求められる背景
- 若年層における社会課題への意識の高まりと情報開示の必要性
- 脱炭素の3つの波に乗る「脱炭素経営」で企業価値を上げる
- 持続可能性(サステナビリティ)経営に合った「就業規則」の整備

無料
Web
セミナー

昨今「脱炭素」や「サステナビリティ」などのワードが目につくようになってきました。大手企業では既に取り組みが始まっていますが、自分の会社はまだ先の事と先延ばしにしている中小企業が多いのではないでしょうか?しかし、地球温暖化問題は喫緊の課題であり、社会的にも今求められている関心度の高い取り組みです。本セミナーでは、この注目度の高い「脱炭素経営」をチャンスととらえ、企業価値を向上させ「選ばれる企業」になるための、中小企業が取り組むべきポイントを専門家に解説いただきます。

視聴可能期間

2023年 12月5日(火)11:30~12月11日(月)17:00

※講演時間は約60分となります。

お申し込み期限

12月4日(月)17:00

参加費

無料

講 師



PromJapan株式会社
代表取締役
SDGsビジネスマスター
CSV経営デザイナー
大門 賢治 (だいもん けんじ)先生



エプソン販売株式会社
グリーンモデル推進部
課長
柴崎 崇 (しばさき たかし)



株式会社TMC経営支援センター
常務取締役
社会保険労務士
小沼 友宏 (こぬまともひろ)先生

企業や団体のバックオフィス業務のシステム化サポートに長く従事したのち、SDGsを実践することで未来を変えるチカラになりたいと当社を設立。中小企業が生き残るために、経営者の視点で「企業価値を上げる脱炭素経営」の取組みを提案し、脱炭素ソリューションを集めたプラットフォームと交流の場を立ち上げる等、SDGs活動を推進中。

2001年、エプソン販売株式会社入社。約20年間法人営業に従事し、22年より現職。企業の環境経営支援を目的に、従来より強みとする自社プロダクトによる脱炭素経営の支援に加え、環境経営コンサルティングや電力量可視化等の新規ビジネスを推進中。

平成24年4月 株式会社TMC経営支援センター 常務取締役就任、現在に至る。令和元年8月から令和2年3月栃木働き方改革推進支援センターにてセンター長職に従事。運送業の2024問題、建設業の2024問題、ハラスマントセミナー、経営セミナーの講師も務める。

詳細・お申し込み

https://form.k3r.jp/ht_tax/231205



辻・本郷 税理士法人
HONGO TSUJI TAX & CONSULTING

EPSON